

沖縄県移住受入協議会 ニュースレター

おきなわ移住の輪



事務局 沖縄県企画部 地域・離島課 地域振興班 TEL (098) 866-2370

平成 29 年 9 月号 (第 14 号)

ハイライト

- 移住セミナーにて初めての試み「パネルトーク「ゆんたくタイム」が好評
- 移住セミナー参加市町村の移住資料をご紹介します！

目次

- 9 月開催・参加の移住セミナー、移住フェアのご報告 …1
- 第 2 回地域の世話役養成塾を開講。 …2

■ 9 月東京開催の移住イベント実施 & 参加 レポート ■

9 月 8 日(金)、9 日(土)の 2 日間は、県主催の移住セミナーを開催



■ パネルトーク「ゆんたくタイム」は初試みで大好評！

会全体を「ゆんたく会」と題し、ゆんたく(おしゃべり)を主軸にして各地域の特徴や移住取組を紹介し、また来場者と市町村担当者との交流を図りました。

前半の「ゆんたくタイム」では、参加市町村(国頭村、渡名喜村、久米島町、石垣市、竹富町)がステージに登壇し、司会者から振られる「仕事」「住まい」「暮らし」等のテーマごとに語りました。



「移住者向け住宅」「販売所」「学校の様子」等の地域のスライド写真も利用しながら、複数の地域の事情や様子を知ってもらいきっかけになったと思います。

企画・実施した私たち県担当者も、沖縄県と一口に言っても、地域ごとの暮らし方や働き方等違いがあることを改めて実感しました。また、パネルトーク形式という初めての試みでありながら、登壇した市町村の方々の魅力的な地元 PR やアドリブに助けられて、とても内容の良い、楽しく有意義な時間になったと思います。改めてお礼申し上げます。 >>次ページへ続く

今後の予定

【移住フェア】

- 11 月 12 日(土)
九州・山口9県主催！各県のファン x UIJ ターン希望者 x 出身者との大交流会(東京)
- 12 月 16 日(日)
ENJOY! ローカルライフ! 九州・山口・沖縄 移住 & 起業・就農フェア ~ (福岡)

【沖縄移住セミナー(移住相談会)】

- 10 月 9 日(月・祝)
沖縄移住・定住大相談会 (東京)
- 11 月 5 日(日)(大阪)
- 【移住に関する円卓会議】
- 10 月 24 日(火)~26 日(木)の 3 日間、県内各地での連続開催を予定。

【移住モニターツアー】

- 宮古島市、石垣市、久米島町において実施予定。

【地域の世話役養成塾】

- 第 3 回講座開講
11 月下旬より県内複数箇所開催予定

■ 後半の個別相談ブースも大盛況！



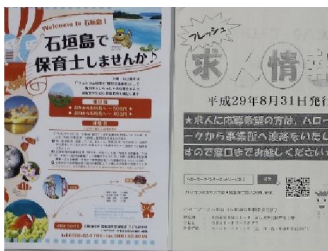
後半では、6自治体が個別のブースを設置し、予約制で個別相談を行いました。前もって事前予約された方だけでなく、パネルトークで興味を持った市町村ブースを訪れる方もおり、各ブースとも多く相談者が訪れていました。

■ 移住情報(チラシ・パンフ配布)ブースを設置！



会場の一角に来場者が閲覧・持ち帰りできる資料(チラシやパンフレット)のスペースを設けることで、参加市町村すべての情報提供ができたことは良かったと思います。また、個別相談の予約がすでに埋まっており、個別相談対応ができない市町村の資料もこちらで取得できるようにもしました。

■ 各市町村による配布資料の一部をご紹介します！



→ 渡名喜村の地域に密着した情報満載のリーフレットは写真が豊富で温かみがあり、村の様子がよくわかりました。



← 石垣市の用意した「ハローワーク求人情報」が人気でした！



← 久米島町では、次々と新しい移住取組が生まれ、それを上手にウェブやチラシで紹介しています。島の魅力を伝える手作りアルバムも。

■ Facebook 投稿で、イベントのライブ感を演出！

今回新しい試みとして、イベントの様子を複数回 Facebook に投稿しました。県が運営する移住応援サイト「おきなわ移住の輪—結—」Facebook ページは、いいね！数 880 名以上、フォロー数 900 名以上と拡散力が高く、イベントの様子をリアルタイムで伝え、移住セミナーへの関心と次回以降の参加を促せればと思っています。



9月10日(日)は、年に一度の大移住イベント「ふるさと回帰フェア2017」へ出展！



有楽町にある東京国際フォーラム内の大イベントスペースを使用した「ふるさと回帰フェア2017」、今年は約 350 自治体が参加し、来場者数は 16,543 人！沖縄県も、県と 5 市町村で計 6 ブースで出展しました。イベントの詳細は、次回 10 月発行の 15 号にてお伝え致します！

■ 第 2 回世話役養成塾開講 ■



8月21日(月)本島南部、22日(火)北部にて地域の世話役養成塾第2回を開講し、11市町村30名の受講者が参加しました。

法政大学教授の図司直也氏を講師に迎え、移住者を迎える地域として、まず地元の現状を理解し今後どのように維持し、変化して行きたいかの話し合いや熟考の大切さをお話頂きました。図司氏は学生時代に、T時集落点検の考案者である徳野貞雄氏(熊本大学総合人間学教授)の指導の下、同集落点検を行い、その際のお話についても伺うことが出来ました。

次回養成塾第3回目では、受講者が今後地域で移住施策を実践するのにヒントとなるような講義を企画検討中です。沖縄県内で実際に移住取組を進めている自治体と、人口減少が課題であった笹川地区(富山県)を様々なアイデアと施策によって活性化させ、人口増加へ導いた、笹川地区自治会振興会 会長 小林茂和氏を迎えての講義になります。